

関西しまかぜ紀行 +都電

高1 玉真 俊弥

こんにちは。本日は旅行・鉄道研究部の出展にお越しいただきありがとうございます。停車場執筆3回目の玉真です。今回はこの夏に実施された、鉄研旅行について綴ります。今回の旅行は、都電貸し切りと特急「しまかぜ」への乗車をメインとした旅行になっています。文章写真ともにひどいですが、最後まで読んでいただけると幸いです。

第1章 都電貸切

8月3日(月)

荒川車庫前 →(貸切)→ 早稲田 →(貸切)→ 三ノ輪橋 →(貸切)→ 荒川車庫前
貸切終了後解散

□ 鉄研史上初の都電貸切

8月3日、私たちは都電荒川線の荒川電車営業所へと集合した。そう、これから高輪鉄研史上初めての都電の貸切運行をするのである。ところで、ここで気になったので過去の貸切を調べてみると、いすみ鉄道や会津鉄道などを貸し切っていたようだ。今回の貸切運行では9000形9002号車を使用し、こちらで作ったヘッドマークまでつけさせていただいた。都電の貸切はとてもリーズナブルで、ヘッドマークもつけられるため、学生団体をはじめとても人気だ。集合し点呼を取ると、早速車両にヘッドマークをとりつけた。貸し切る車両の前で集合写真を撮ったり、8808号車と並べての写真撮影などをした。営業所のサービスのよさは噂通りであった。そして私たちは車両に乗り込んだ。なお当日使ったヘッドマークは鉄研ブースに展示しているので是非ともご覧いただきたい。

□ そしていよいよ

10時28分、私たちを乗せた電車は荒川車庫前から早稲田へと出発した。貸切だから駅もどンドン通過！という訳には行かず、信号に引っかかったり先行列車に追いついたりとちよくちよく停車した。しかし、駅で待っている人を横目に通過していくのは優越感があった。また、早稲田へ向かう際は写真のようなヘッドマークを掲示していたため、呆然としてこちらを眺める人や写真を撮る人もいて、車内から見ているととてもおもしろく感じた。

車内から眺めているうちに電車は11時頃早稲田に到着。運転士さんが反対側の運転台に移動しすぐに折り返した。早稲田からは三ノ輪橋へと向かう。ヘッドマークは写真のヘッドマークを使用した。そして再び電車を待っている人を横目に通過していく。車内

は貸切なので、もちろん周りの目を気にせずおしゃべりも出来た。おしゃべりをしてい
るうちに電車は 12 時をちょっと過ぎた頃三ノ輪橋へ到着し、荒川車庫前に向けて折り返
した。荒川車庫前に向かう車内では、「タモリ倶楽部」でやっているような、車両の床に
耳をつけて走行音を楽しむということをやった。これも貸切だからこそできることであ
る。都電 9000 形は東洋 IGBT を使用していて、京急 2100 形のような加減速音が聞こえた。

そして 12 時 30 分頃、電車は荒川車庫前に到着し貸切運転は終了した。今回の貸切に
ご協力いただいた営業所の方々、運転士さん、ありがとうございました！



▲早稲田方のヘッドマーク



▲三ノ輪橋方のヘッドマーク

第 2 章 これからが鉄研旅行

8 月 3 日(月)～8 月 4 日(火)

東 京 23:10 → (快速ムーンライトながら号 大 垣 行き) → 大 垣 5:51

□ アクシデント続きのムーンライトながら号

夜 22 時 45 分、再び私たちは東京駅 9・10 番線に集合した。これからが鉄研旅行本番
といったところだろうか。点呼を取り、松崎先生から切符を受け取り、列車を待った。
23 時 03 分、9 番線に 185 系が入線してきた。折り返しムーンライトながら号となる。編
成は大宮総合車両センターの B7 編成(前 4 両)+B4 編成(後 6 両)だった。ほどなくして
ドアが開き、写真を撮ったりしながら列車に乗り指定席券で自分の席を探す。今回は先
輩が隣だった。鉄研旅行で初めてかもしれないなどと考えつつ、乗車した車両はクハだ
だったので静かに眠れそうだなあなどと考えていた。

中央線からの接続を待ったため、定刻を 2 分遅れて 23 時 12 分、東京を発車した。品
川、横浜と順調に停まり、車内の空席も埋まっていく。しかし、順調に走っていた列車

が保土ヶ谷～東戸塚間で止まった。しばらくすると車掌からの放送があり、「走行中に列車のドアが開いたため安全確認を行っています」とのこと。走行中にドアが開く！？なかなか聞かない話でびっくりした。待つこと 20 分、列車は運転を再開し、ゆっくり走ること約 15 分、今度は大船駅手前でまた止まった。今度は何かと思ったら、付近を走る列車が走行中に異常な音を感知したことによる安全確認をしているため、ムーンライトながら号も停車しているとのことだった。これは 10 分ほどで運転を再開し、30 分遅れで大船駅を通過した。が、まだ事件は続いた。しばらく走ると今度は辻堂駅で停車をした。Twitter で状況を確認すると、車掌室の窓を叩く乗客がいて警察に引き渡すために辻堂駅に止めたとのことだった。トラブル続きで 30 分以上の遅延となったが、その後は停車時間等を利用し、15 分遅れまで回復した。私は途中ウトウトする程度でしっかりと睡眠をとることができなかった。

列車は 15 分遅れで 3 時頃浜松駅に到着。もともと 3 時 15 分発車予定なので、部員達も何人か飲み物を買いにホームへ降りてきた。浜松駅では貨物列車の通過待ちをした。しかし、15 分になっても列車はいつこうに発車しそうになかった。どうやらまだ貨物の通過待ちをするらしく、結局 4 本の貨物に抜かされ、15 分遅れの 3 時 30 分に浜松駅を発車した。私もやっとまともな眠りにつくことができた。

「おはようございます、まもなく名古屋に到着します」。目が覚めた頃、ちょうど名古屋に到着する放送が流れている時だった。降りるのは大垣だったので再び仮眠を取り、起きてみると大垣駅の到着放送が流れていた。手荷物をまとめ、最後の方に降りた。

第 3 章 し ま か ぜ !

8 月 4 日(火)

大 垣 5:56 → (東海道本線 普通 網 干 行き) → 米 原 6:29

↓ここから自由行動↓

米 原 6:31 → (東海道本線 新快速 姫 路 行き) → 京 都 7:30

京 都 7:49 → (地下鉄烏丸線 普通 国際会館 行き) → 烏丸御池 7:55

烏丸御池 7:59 → (東西線・京阪京津線 普通 浜大津 行き) → 浜大津 8:27

浜大津 8:49 → (京阪京津線 普通 京都市役所前 行き) → 京阪山科 9:02

山 科 9:08 → (東海道本線 新快速 姫 路 行き) → 京 都 9:13

□ 大垣ダッシュしない

大垣駅では恒例の大垣ダッシュをする行程にした。一応説明しておくが大垣ダッシュとは、10 両のムーンライトながらから 4 両の米原方面行きへ着席を狙った壮絶な乗り換えバトルである。駅構内には制限 10km/h っていう看板があるとかないとか……。私は疲れていたの歩いて乗り換えて米原まで立っていた。眠かったのであまり記憶がない

が、霧が出ていた記憶はある。あと 223 系が警笛を鳴らしていたことも。

米原駅に着き、ホーム反対側に停車している新快速に乗り換えた。個人的には 225 系がよかったが 223 系だった。新快速と言えは 130km/h 運転である。この新快速も当然 130km/h で走り、停車駅ごとに通勤客を増やしながら京都へと向かった。私は先頭車両で前面展望を楽しんだ。なんとといっても、草津～京都間は bve で再現されている区間なので、運転士の運転をしっかりと目に焼き付けて、京都駅で下車した。京都からは初乗車である京都市営地下鉄烏丸線へ乗り換えた。烏丸線は 10 系という緑色の車両が来た。ラッシュの時間だったので車内は混んでいた。まあ当然だが。烏丸御池に着くと地下鉄東西線に乗り換えた。東西線は東京でいう南北線みたいなフルスクリーンホームドアで来た電車は 4 両だった。私は京阪京津線に直通する列車に乗った。というのも、御陵～浜大津間も bve で再現されている区間なのである。これは乗りたい！という感情が私を京津線へと引っ張った。京津線は最高 61% の勾配と最小半径 40m のカーブと併用軌道と乗って楽しい運転して楽しいみたいな路線である。という訳で烏丸御池から東西線に乗り、御陵から京津線へと直通した。先ほど書いたが、やっぱり急勾配急カーブと乗っていて楽しい！bve のために運転のテクニックをしっかりと覚えて浜大津に到着。浜大津から来た道に戻り京阪山科で JR に乗り換えて京都に行き集合場所へ向かった。



▲浜大津駅に到着する京阪 800 系



▲浜大津駅

□ みんなお待ちかね「しまかぜ」

京 都 10:00 → (観光特急「しまかぜ」 賢 島 行き) → 賢 島 12:47

京都駅の近鉄改札口に集合だったが、集合時間の 9 時半になっても西島先生率いる中 2 のグループが来ない。どうやらグループ内でトラブルがあったようだ。近鉄内は団体乗車なので部員顧問全員が専用改札を一斉に通らなければならず、中 2 グループを待つことに。すると 50 分頃、遅れていたグループが集まり、ホームへと入った。改札を通って目の前にはすでに圧倒的存在感を誇る観光特急「しまかぜ」がいた。

「しまかぜ」とは

近鉄の観光特急「しまかぜ」は伊勢志摩への観光客輸送のみを目的として2013年にデビューした特急列車。2014年にはブルーリボン賞を受賞している。「しまかぜ」の愛称の由来は、志摩に吹く風の爽やかさと、車内で過ごす時間の心地よさから名付けられた。6両編成の車内は全席が本革を使用したプレミアムシートで、その他に和風洋風個室、カフェ車両などがある。詳しい車内サービスはこれから綴っていく。



▲京都駅に停車中の「しまかぜ」



▲乗車記念証とおしぼり



▲広々とした車内



▲足元も広々としている

写真を撮り、列車に乗り6号車に入った。するとなんとということだろう。クリーム色の2席+1席の座席が9列きれいに並んでいる。あまりの高級さになんと書けばいいのか……。とりあえず荷物を整理して席に座った。驚いた。座った瞬間座席が自分の体を包み込んだ。そして足下が広い！と感動しているうちに発車時刻10時00分となり、しまかぜはゆっくりと京都駅を発車した。座席の周りにはボタンが多くある。一つ一つを試してみると、リクライニングはもちろんフットレストも自動で動き、マッサージ機能まであり、さらにカーテンも自動なのだ。高校生の分際私には豪華すぎるという困惑とわくわく感でいっぱいになった。京都を発車してすぐ車内アテンダントが車内に来た。早速乗車記念のポストカードとおしぼりを丁寧に届けてくれた。うーん素晴らしい！しまかぜに乗るプランを立ててよかった！心からそう思った。感動しているうちに近鉄丹波橋駅に到着。なぜ停車するのかと思ったら京阪との乗り換え駅だからだよ。

そして座席を堪能していると大和西大寺駅に到着。近鉄といえばこの駅というぐらいすごい駅である。というのも発車すると車窓には数え切れないぐらいのポイントが並ぶ。この光景は圧巻である。この景色を見ずして近鉄に乗ったとは言えないぐらい(だと個人的に思ってる)。座席でゆっくりしているうちに大和八木を通り、時間はまだ11時頃だが先輩2人と後輩1人でカフェ車両に食事をしに行くことにした。カフェ車両に行くと席がいっぱいらしく少々待つと2階席へと案内された。また驚いた。2階席からの眺めは最高で、この緑豊かな風景を眺めながら食事を出来ると思うと感激した。私は海の幸ピラフを頼んだ。車窓を見ながらぼーっとしているとピラフが来た。うーんいい香り。冷めないうちに写真を撮って食べた。期待を外さない味で満足！あつという間に食べ終わってしまった。先輩は松坂牛カレーを食べていた。私も食べたかった……。帰り際に販売カウンターでネクタイピンとトレインストラップを購入。こういう車内限定グッズには目がない私にはたまらない。



▲「海の幸ピラフ」と前面展望

しまかぜ車内ではwifiをつなぐことで前面展望をどこでも楽しむことができる。また、2階席の高さもわかるだろう。



▲海の幸ピラフ



▲松坂牛カレー

腹も満たされ席に戻り残された時間を堪能した。途中でアテンダントさんが車内販売に来た。私はオレンジジュースと抹茶アイスを購入。華やかな旅にさらに花を添えてみた(よくわからぬ表現である)。列車は伊勢市、宇治山田、鳥羽、鶴方と止まり、12時47分、賢島に到着した。長いようで短かった「しまかぜ」の旅もここで終わり。現実に戻された感じがした。というか戻された。もっとあの座席に座っていたかったあ。ここで夜のムーンライトながらまで自由行動となった。私は以下の行程で移動した。

賢島 13:15	→ (近鉄志摩線 普通 白塚 行き)	→ 伊勢市 14:11
伊勢市 14:49	→ (特急ビスタカー 大阪難波 行き)	→ 大和八木 16:02
大和八木 16:05	→ (近鉄橿原線 普通 大和西大寺 行き)	→ 大和西大寺 16:35
大和西大寺 16:45	→ (近鉄奈良線 快速急行 近鉄奈良 行き)	→ 近鉄奈良 16:50
近鉄奈良 17:15	→ (近鉄奈良線 快速急行 大阪難波 行き)	→ 大阪難波 17:56
JR 難波 18:29	→ (大和路線 普通 王寺 行き)	→ 天王寺 18:36
天王寺 18:47	→ (大阪環状線 普通 大阪 行き)	→ 大阪 19:09
大阪 20:00	→ (東海道本線 新快速 長浜 行き)	→ 米原 21:27
米原 21:29	→ (東海道本線 普通 大垣 行き)	→ 大垣 22:02

第4章 近鉄乗りまくれ！大阪を楽しめ！！

□ 伊勢神宮参り

賢島で解散した後、特に行程を決めていなかった私は伊勢神宮の外宮を参拝する中2のグループについていくことにした。賢島から2両編成のワンマンに揺られて来た道のをんびり逆戻り。最初はがらがらだったが徐々に席が埋まっていく。そして1時間後伊勢市に着き外へ出た。とにかく暑い。とりあえず中2のグループについて行き外宮を参拝した。あまりにも暑かったのですぐ駅に戻り、ここで中2のグループと別れて1人自由の身となって(もともと自由の身だが)特急に乗り込んだ。実は時間がなかったので車内で特急券を買い適当な席に座った。ながらで寝れなかった疲れからか特急では爆睡した。この爆睡が悲劇を起こす・・・。

□ 橈骨神経麻痺

1時間ほど寝て起きると伊勢中川から伊賀神戸間を走行中だった。しかし左腕が完全に痺れている。ペットボトルを持つと左手にまったく力が入らず手がぐにゃりとそれてしまう。まあ寝ている間に痺れたなんて経験は読んでいる人にもあるかもしれない。私は少し時間が経てば治るだろうと高をくくっていた。しかしまったく治らない。力が入らない。左手で物が持てない。ピンチだったがマッサージしても治らないという最大のアクシデントに見舞われた。この症状は旅行から帰った後病院に行ったところ「橈骨神経麻痺」という病気と診断された。この記事を書いている今も力が入るが痺れてる感覚

が若干残っている・・・。そんな中大和八木に到着。乗り換え案内だと16分発の急行が出ていたが、ホームに行ってみると大和西大寺まで先着の普通が止まっていたので迷わず乗車。ここでもマッサージをしていた。30分程で大和西大寺に到着。そう、大和西大寺といえばポイントが多い駅。駅の南東側はこんな感じ。これ目当てで大和西大寺に戻ってきたと行っても過言ではないだろう。



▲大和西大寺のポイント群



▲デボ1形復刻塗装

□ 近鉄奈良線

大和西大寺からは近鉄奈良線を完乗しようと思い、一旦奈良まで戻った。西大寺から奈良まで阪神車だったが、阪神1000系のドアチャイムがなんとなくおもしろかった。

近鉄奈良で待っていると「まもなく、1番乗り場に大阪難波行き、快速急行が・・・」と到着放送が鳴った。何が来るかと楽しみにしていると、9820系に乗りたかった私には残念だったが5800系が来た。しかし、ただの5800系ではなく、デボ1形復刻塗装をした編成だった。おおラッキー！と思い早速乗車。関西弁の訛りで、案内がされる。「この列車は、大阪難波行きの快速急行です。途中停車駅は、新大宮、大和西大寺、学園前、生駒、鶴橋、上本町、日本橋です」素晴らしい、この放送。しかしなぜ私が近鉄奈良線をここまで楽しみにしているのか。それはこの奈良線の奈良～難波までもbveで再現されていてそれを運転しているうちに、この路線を完全に好きになってしまったからだ。この路線も是非一度乗りたい。そんな思いで今回この奈良線に乗った。

ドアが閉まって、発車する。この都営5300形の低音時代のモーター音みたいな音素晴らしい！一人で喜んでた(もちろん心の中で)。大和西大寺手前では一気に5ヶ所前後のポイントを通り大和西大寺に到着。ラッシュ対応のためか、ここまでは6両だったが後ろに4両増結して10両になった。そして順調に進んでいき電車は終点の大阪難波に到着した。(おい、お前省きすぎだろ！ いやいや、運転操作をずっと眺めてたから書くことがないんですよ汗)

難波でぼーっと高頻度で来る列車を眺めながら京急品川のような、などと思った。

□ あとは大垣に行くのみ！

10分ほど歩いて難波から JR 難波へ移動し、JR 難波→天王寺と移動した。本当は天王寺から阪和線にも乗りたかったが、時間的にやばそうだったので次の機会にお預け。新快速は大阪で乗れるので、大阪環状線外回り電車に乗った。JR 奈良線からの直通電車だったが、見事に 103 系が平然とやってきた。103 系や 201 系が大阪中心部を走っているのはいつも驚きである。この車両たちも置き換えが発表されているので早めに記録しておきたい。

ラッシュで混んでいる 103 系に揺られて大阪に到着。集合時間ぴったりの電車は大阪 20 時 00 分発のようだったので、環状線ホームで環状線の車両たちの写真を撮っていた。時間になったので柿の葉ずしを購入し新快速に乗車した。帰宅するサラリーマンなどで混み合っていたが、次第に立ち客がいなくなったので、補助座席に座って疲れた体を休めた。そういえば大阪から米原まで新快速乗るのは前の春旅行の時もやったなあ。

米原に着きホームの反対側に停車している大垣行きへ乗り換えた。ここからは JR 東海区間である。2 分乗り換えで乗り換え集合場所の大垣駅へと行く。なにか書きたかったが、眠かった&暗かったので特に書くことがない。

30 分ほどで大垣に着き、無事に(左腕は痺れたままだが)集合した。ムーンライトながらまでまだ時間があるので下のコンビニで夜食を買った。ホームに戻って雑談をしていると 22 時 46 分、ムーンライトながらが入線した。編成は行きとまったく同じである。

8 月 4 日(火)～8 月 5 日(水)

大 垣 22:50 → (快速ムーンライトながら号 東京行き) → 東 京 5:05

帰りはとにかく眠かったので、名古屋を発車した頃に寝て、起きたら横浜に着く手前だった。よく寝た。ぼんやりと車窓を眺めているうちに東京駅到着の放送が流れている。荷物をまとめて 5 時 05 分、東京に無事到着した。解散場所である東京駅丸の内中央口に移動、だったが、旅行案を作った人(私)が朝 5 時に中央口が開いていないことを知らなかったなので、丸の内北口に移動し、5 時 15 分頃解散した。みなさんお疲れ様でした。私は大手町駅まで歩いて三田線に乗って帰宅の途へと着いた。

第 5 章 さいごに

最後までこの文章にお付き合いいただきありがとうございました。やはりしまかぜみたいな豪華列車は乗って楽しいのでまた乗りたいです。この文章では「bve」という言葉が何回か出てきますが、bve とは鉄道運転シミュレーターのこと、高学祭にも鉄研ブースにて展示しておりますので、そちらをご参照ください。

参考文献 : wikipedia(<https://ja.wikipedia.org>)

「しまかぜ」ホームページ(<http://www.kintetsu.co.jp/sendin/shimakaze/>)